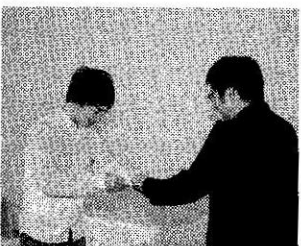


神戸大・建築卒業展2013

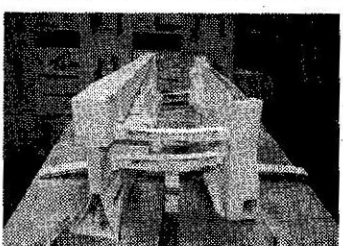
神戸大学建築卒業展2013（特別協賛）総合資格学院）が19日から3日間、神戸市中央区の兵庫立美術館で開かれ、大学生活4年間の集大成として制作した卒業設計など31作品が展示された。コンセプトは「documentary（ドキュメンタリー）」。



たくさんの方が訪れた展示会場



遠藤教授から表彰状を受け取る谷口さん



谷口さんの作品

かれ、今年が8回目。卒業から未来へつなげて、3氏からの質問に真意を込めて答えた。審査には「3氏からの質問に真意を込めて答えた。審査には神させる」と作品の狙いを説明。畑氏は「迫力と強い信念が伝わってくる」と評価し、大西氏も「面白い手法」など話した。

このほか、畑賞に徳永悠希さん、大西賞に猪部開さん、多賀賞に楊輝彦さんの作品がそれぞれ選ばれた。最優秀賞の谷口さんには、遠藤教授から表彰状、総合資格の末吉一博神戸支店から記念品が贈られた。

最優秀に谷口さん「間隙のアジール」

ですべてを企画。昨年9月から委員会代表の吉野真実さんを中心に準備を進めてきた。

吉野さんは「大学生活そのものがドキュメンタリーであり、過去を振り返るだけでなく、現在の返るだけでなく、現在の

ゲスト講師は畑友洋氏と大西麻貴氏、多賀謙蔵氏。講評会を前に3氏が「間隙のアジール」が選ばれた。二つレクチャーを行い、自身の作品などを紹介。続いて、3氏が事前に選んだ9作品について、学生がプレゼンテーションを行

は、大学生と大学院生のプレゼンテーションに臨み、教師や学生、来場者が部門ごとに優秀と感

作品などの審査には、1年生部門に5人、2年生部門9人、3年生部門17人、4年生部門に延べ14人、修士部門に4人がエントリー。15人が20日

は、大学生と大学院生のプレゼンテーションに臨み、教師や学生、来場者が部門ごとに優秀と感

作品などの審査には、1年生部門に5人、2年生部門9人、3年生部門17人、4年生部門に延べ14人、修士部門に4人がエントリー。15人が20日

は、大学生と大学院生のプレゼンテーションに臨み、教師や学生、来場者が部門ごとに優秀と感

作品などの審査には、1年生部門に5人、2年生部門9人、3年生部門17人、4年生部門に延べ14人、修士部門に4人がエントリー。15人が20日

4年生優秀は藤田さん

大阪市大居住環境学科など 第10回デザインフォーラム

大阪市立大学の生活科学部居住環境学科と大学院生活科学研究科は、19日と20日に学生らの課題作品などを展示・講評する「第10回居住環境デザインフォーラム」（特別協賛）総合資格学院を、大阪市住吉区の同大学学術情報総合センターで開いた。21日には昨年度の各学年の作品から優秀作品が選ばれ、4年生部門



では藤田俊洋さんのデザイン提案「木を囲み、花に囲まれる家」と卒業設計「登りつなぐマチ・斜面地における駅周辺の新たなカタチ」に決定。特別講師として招いた建築家・内藤廣東大名誉教授が白石美奈子さんの「朝食に集う家」（大学3年生部門）を特別賞「内藤賞」に選んだ。

デザインフォーラム

は、大学生と大学院生のプレゼンテーションに臨み、教師や学生、来場者が部門ごとに優秀と感

作品などの審査には、1年生部門に5人、2年生部門9人、3年生部門17人、4年生部門に延べ14人、修士部門に4人がエントリー。15人が20日

は、大学生と大学院生のプレゼンテーションに臨み、教師や学生、来場者が部門ごとに優秀と感

作品などの審査には、1年生部門に5人、2年生部門9人、3年生部門17人、4年生部門に延べ14人、修士部門に4人がエントリー。15人が20日

は、大学生と大学院生のプレゼンテーションに臨み、教師や学生、来場者が部門ごとに優秀と感

作品などの審査には、1年生部門に5人、2年生部門9人、3年生部門17人、4年生部門に延べ14人、修士部門に4人がエントリー。15人が20日

▽1年生 高松浩史「バスケット」、木村帆花「BRIEF CAS E&CHAIR」▽2年生 柏岡萌「青に向かう箱」、虎走恵利「木の道、上田奈々「ルーフ ループ」▽3年生 中本祐子「ユリ、クルリ」、白石美奈子「朝食に集う家」（内藤賞）、上月理紗「やどり木」▽4年生 藤田俊洋「木を囲み、花に囲まれる家」（デザイン提案）「登りつなぐマチ・斜面地における駅周辺の新たなカタチ」（卒業設計）。

藤田さんの「木を囲み、花に囲まれる家」

白石さんに特別賞を手渡す内藤氏

白石さんの作品